

北区コミュニティバス（浮間地域ルート）導入状況説明会 意見概要

1. 説明会の概要

- ・ 日 時 : 令和4年11月10日(木) 19:00~20:00
 令和4年11月12日(土) 19:00~20:10
 参加者数: 令和4年11月10日(木) 15名
 令和4年11月12日(土) 11名
- ・ 意 見 数 : 16件 ※類似の意見はまとめています。

2. 住民からの意見

意見と区の考え方は以下の通りです。

(1) ルート及びバス停に関する意見

No.	意見概要	区の考え方
1	コミュニティバスの導入の目的は何か。	鉄道駅やバス停から離れており、公共交通機能の向上が必要な箇所を対象とした移動手段の確保を目的としております。
2	主要な施設がある浮間一丁目を通らないのはなぜか。	運行ルートについては、運行距離やダイヤとの整合を図りつつ、鉄道駅から500m以上離れている等の公共交通機能の向上が必要な地域を運行するようにしております。そのため、浮間三丁目から五・二丁目を周るルートとしております。
3	赤羽駅～北赤羽駅間には北医療センターしかバス停がない。赤羽台や赤羽北に住んでいる人達の利用も見込めると思うが、設置しないのはなぜか。(2件)	本ルートは浮間地域の交通利便性向上を図るため、概ね20分間隔のダイヤとし、1周60分で運行することを優先しております。 現在の運行計画ではバス停の増設は難しいと考えておりますが、試験運行の結果を受け、必要に応じて検討してまいります。
4	クローズドドア区間について、コミュニティバス導入のガイドラインに定められている措置であるのか。	ガイドラインでは、既存の路線バスと競合することがないように十分に検討すべきとされており、路線バス事業者も含めた北区地域公共交通会議で対応を協議した結果、クローズドドア区間を設けることとなりました。
5	クローズドドア区間を設けているところは他にあるのか。	都内ではありません。

6	小型バスが入手できないのであれば、大型バスでも通行できるルートに変更して、大型バスで運行するという選択肢はないのか。	コミュニティバスは公共交通機能の向上が必要な箇所へ導入することとしております。 本ルートは大型車の乗入や停車が難しい場所もあるため、小型バスで運行する予定です。
7	クローズドドア区間の説明として、赤羽駅から北医療センターでは降りられない、浮間から北医療センターでは乗れないという内容であったが、浮間から赤羽駅へは直接いけるのか。	浮間から乗車して赤羽駅で降りることは可能です。 また、クローズドドア区間については利用者への丁寧な周知が必要であると考えており、バス停への標示や乗車時のアナウンス等を徹底し、乗り間違い防止に努めてまいります。

(2) 運行車両に関する意見

No.	意見概要	区の考え方
1	車両生産再開の状況によっては1～2年ほど運行が遅れることも考えられるのか。	メーカーからは公式な発表はありませんので、明確なお答えはできません。
2	ベビーカーや車いすでも乗れるのか。	乗車できます。車椅子でご乗車される際には、運転手がステップ板を用意し、乗車補助を行います。
3	他の自治体のコミュニティバスで使っている車両も日野ポンチョなのか。 そうであれば、中古車両を入手できるのではないか。(2件)	中古市場にはかなり年数の経過した日野ポンチョが出ていることはありますが、本事業に適した年数の日野ポンチョはなく、今後も流通する可能性は低いのが現状です。

(3) 本格運行への移行に関する意見

No.	意見概要	区の考え方
1	運行を継続するためには、一日何人ぐらい乗車する必要があるのか。	本格運行に移行する目標は収支率50%で、1日当たり約700人の乗車が必要と想定しております。
2	運行継続の可否について、収支率が目標に達しなかった場合は、すぐに運行取りやめとするのか。	収支率が目標に達しなかった場合は、運行方法の見直しや利用促進策を講じて収支の改善を図ってまいります。
3	王子・駒込ルートの収支率はどの程度か。	田端循環ルートを含めると、約70～80%となっております。

(4) その他

No.	意見概要	区の考え方
1	運行時間帯は決まっているのか。	運行時間帯は朝7時台から夜19時台とする予定です。
2	資料について、少し表示が分かりづらい。北医療センターへは往路・復路共に乗り入れるのか。	北医療センターへは往路復路共に乗り入れる予定です。路線図等の資料については、より分かり易くするように努めてまいります。